

2022年度グローバル・カフェ活動中間報告書 (2022年10月～2023年1月)

1. 2022年度後期開講クラス一般
2. TOEIC Speaking & Writing テスト
3. グローバル・カフェイベント
4. 学生主催イベント
5. International Week
6. 留学相談
7. 三木高校生のインターンシップの受入れ
8. グローバル・カフェ 2022年度後期利用者実績

1. 2022年度後期開講一般クラス

2022年10月11日(火)から2023年1月20日(金)まで、一般クラス計12クラスを開講し、計43名(延べ人数)の学生が登録した。12クラスのうち、Model United Nations, Basic English, Big Questions and Dialogue の3クラスは、10月に新しくグローバル・カフェに着任したベンジャミン・ジョンソン教員が担当し、また、Museum Tours および Estonia&Germany Workshop は滝川祐子教員の担当にて、後期から新たに開講することとした。

しかし、上記クラスのうち Museum Tours, Basic English, Model United Nations(火曜日クラス)には受講希望登録がなく、また Let's talk, Estonia Germany Workshop, Big Questions and Dialogue 以外は受講者が2~3名に留まるなど、全体的に前期に比べて受講希望者数は低調であった。ただ、受講した学生たちは途中キャンセルをせずに、継続的に受講しており、個々の受講生の高い意欲が伺えた。

Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
10:30~11:30		留学相談 *相談日時調整可能です。 (滝川 祐子)	English Conversation (初級) (J Hankins)		English Discussion(中級) (J Hankins)
12:10-12:50	Model United Nations (B Johnson)	Model United Nations (B Johnson)	TOEIC Speaking (J Hankins & G McCrohan)	TOEIC Speaking (B Johnson & G McCrohan)	TOEIC Speaking (J Hankins & G McCrohan)
	Museum Tours (Y Takigawa)		Basic English(Online) (B Johnson)		
13:10~14:10	Discussing Current Events and World News (D Billa)	Big Questions and Dialogue (B Johnson)			
14:50~15:50	Spanish (G Garcia Fernandez)	Basic English(in person) (B Johnson)	Creative Writing (G Perkins)	Big Questions and Dialogue (B Johnson)	
			上級中国 (李 九妹)		
16:30-17:30	Let's talk (B Amad)		Estonia Germany Workshop (Y Takigawa)		
18:00-19:00			TOEIC Writing (B Johnson & G McCrohan)	TOEIC Writing (B Johnson & G McCrohan)	

後期開講クラス別の参加延べ人数は下記の表の通りである。

クラス名	後期を通じての出席者数
Discussing Current News and World Events	19
Spanish	11
Let's talk	38
Model United Nations	22
Basic English	0
Big Questions and Dialogue	58
上級中国語	29
Creative Writing	14
Estonia & Germany Workshop	46
English Conversation	16
English Discussion	29
Museum Tours	0
TOEIC S&W	486(※)
合計	768

(※)TOEIC S&W の出席者数は、登録者数と実施回数を元に出した概算である。

2. TOEIC Speaking & Writing テスト説明会

12月17日(土)に幸町キャンパス 411 講義室にて TOEIC Speaking & Writing テストを実施した。当日受験できなかった学生には別日に機会を設ける処置を講じ、合計 27 名の学生が受検した。本テストを無料受検するための条件として、対策講座の受講を義務付けている。対策講座は 10 月 5 日(水)から 12 月 16 日(金)まで対面形式で開講し、学生 41 名と職員 3 名の計 44 名が登録し、上記のように延べ 486 名(概算)の出席を得た。



TOEIC S&W の授業の様子

3. グローバル・カフェ イベント

1) マレーシア&台湾イベント(10月17日[月])

マレーシア(3名)および台湾(1名)出身の4人の留学生による自国の紹介イベントを開催した。前半では留学生たちに自国の文化を紹介してもらい、マレーシア&台湾に関する理解の深化を図った。後半は、参加者を2グループに分け、自由に交流できるトークセッションの時間を設け、好きな食べ物、趣味、マレーシアの紙幣の実物を紹介するなど、様々な話題で盛り上がった。貴重な相互理解、相互交流の場となったように思う。



イベントの様子



イベントに協力してくれた学生4名

<詳細: <https://www.kagawa-u.ac.jp/files/8316/6720/7021/31ea2d3c8fb4c59f7802af927845fe08.pdf>>

2) インドイベント(10月25日[火])

インドに駐在経験のある石原淳也特命教授(産学連携・知的財産センター特命教授)を招聘し、インド情勢やインドでの生活について学ぶイベントを開催した。とりあげられたトピックはインドの位置や人口などの基礎的知識から、言語、歴史、観光スポット、宗教、インド経済の将来性、インド人の特徴・性格など多岐に渡った。

<詳細: <https://www.kagawa-u.ac.jp/files/5016/6720/7446/7a15c8217102f7041f5dbbce7c6a1e09.pdf>>



石原先生によるプレゼンテーション

3) 全インド医科大学医師との交流会(11月8日[火])

全インド医科大学の医師10名と本学教職員及び学生との交流会を開催し、本学教職員21名(うちオンライン9名)、学生9名が参加した。10名の医師はいずれも全インド医科大学(All India Institute of Medical Sciences)の教員であり、インドの4地域(Rishikesh, Deoghar, Kalyani, Mangalagiri)にある各校から、JICA研修に参加するために来日しており、本学における国際交流イベントの一環として、各地域の文化や地域保健の事情について紹介した。

<詳細: <https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/news/29215/>>



イベントの様子

4) Let's talk with Benn-sensei (11月15日[火])

10月に新しくグローバル・カフェに着任したアメリカ(ノースダコタ州出身)のベンジャミン・ジョンソン教員と親睦を深める会を開催した。ベン教員は環境哲学を専門としており、自身の研究成果に加えて、アメリカでどのような生活をしてきたか、趣味は何か、好きな食べ物や映画等の多様な内容について、プレゼンテーション形式で紹介をした。

<詳細: https://www.kagawa-u.ac.jp/files/2216/6926/0246/Lets_talk_with_Benn-sensei.pdf>



ベン先生による自己紹介

5) Movie Day (1月19日[木])

映画は語学に留まらず、日本を含めた世界中の多様な文化や社会を学ぶ格好の教材と言える。今期はジブリ映画「となりのトトロ」を鑑賞した。イベントは昼と夜に分けて開催し、昼の部は言語を英語、字幕を日本語で鑑賞し、3名の学生が参加した。夜の部は、言語を日本語、字幕を英語で鑑賞し、6名の学生が参加した。Movie Dayは今後も継続予定である。

6) Let it snow イベント(1月19日[木])

切り絵の文化的背景を学ぶ Let it Snow イベントを開催し、学生3名(1名はブラジルからの留学生)、教職員4名の計7名が参加した。参加者で折り紙を使って様々な飾りを作り、グローバル・カフェの冬のデコレーションを作成した。



4. 学生主催イベント

1) ハロウィンイベント(10月26日[水])

学生主催のハロウィンイベントを開催した。ハロウィンの歴史や世界で行われるハロウィンに似た行事等に関するクイズ、お菓子の入ったピニャータ(※)割り、ハロウィンに関連するワードゲーム等を楽しんだ。カボチャ型、おばけ型のピニャータは学生たちの手作りで、このイベントのために9月から準備してきたものである。日本人学生25名、留学生8名(スウェーデン、セネガル、台湾、ブラジル、ブルンジ)、教職員5名の計38名が参加した。

(※)メキシコや中南米でお祝い時に使われる、紙で作られた型枠の中にお菓子を入れる日本のくす玉のようなもの
<詳細: <https://www.kagawa-u.ac.jp/files/6816/6727/2816/c231608f1ce2582da115f5e966cb3dd3.pdf> >



ハロウィンイベントの様子

2) 年末交流イベント(12月22日[木])

学生主催の年末交流イベントを開催した。複数のチームにわかれ、世界で行われている年末年始の習慣等の雑学クイズを行い、得点を競った。また、お菓子の入ったピニャータ割りを全員で行った。

日本人学生13名、留学生13名(スウェーデン、タイ、台湾、中国、バングラデッシュ、ブラジル、フランス、ブルンジ、マレーシア、ルワンダ)、教職員4名の計30名の参加があった。

<詳細: <https://www.kagawa-u.ac.jp/files/5116/7209/8869/aa67cba9286de555f7d2c9ad4044bd92.pdf> >



年末交流イベントの様子

5. International Week

2022年12月8日(木)～12月14日(水)に、「環境問題」をテーマとして、International Weekを開催した。ベン教員が環境問題をテーマに特別授業を行ったほかジブリ映画、環境問題を題材としているPIXER映画を視聴した。

12月13日(火)・14日(水)には、内閣府の国際社会青年育成事業の一環として訪日中のエストニア・ドイツからの青年(各8名)ならびに当事業参加中の日本人青年(7名)が、本学の学生とのディスカッションに参加した。

実施した交流事業の詳細は以下の通りである。

- ①12/13(火) 13:00-14:30
本格インターナショナル ロン教授の講義「プラスチック、環境と人間社会」および意見交換
- ②12/14(水) 14:40-17:00
環境問題をテーマにしたグループディスカッション
- ③12/14(水) 18:00-19:00
日本舞踊とエストニア青年、ドイツ青年による自国紹介

6. 留学相談

日本人学生を対象に、留学相談を10月から開始した。今年度後期より、インターナショナルオフィス滝川祐子教員が担当した。学生の希望に合わせて相談時間を設定し、対面で計18回実施した。内3名の学生は、トビタテ！留学 JAPANに関する相談で、植村友香子教員(地域・産官学連携戦略室 特命准教授)が担当した。

7. 三木高校生インターンシップの受入れ

香川大学と三木高校とで締結したインターンシップ受入覚書に基づき、2022年8月から2023年3月まで、三木高校総合学科2年生2名を受け入れており、以下の活動を行った。

12月11日(土) 第8回英語プレゼンテーションコンテスト実施補助
ならびに、三木高校紹介の英語プレゼンテーション発表

この後、生徒たちは「理想の三木高校」についての発表および成果報告書作成を行い、3月末にグローバル・カフェにてインターンシップを通しての学びについて報告会を行う予定である。



International Week
12月8日～12月14日

2022年度のInternational Weekは「環境問題」をテーマに、授業参加、映画鑑賞、エストニア&ドイツからの青年との交流など様々なイベントを用意しています！気軽に参加できますので、皆様のご応募お待ちしております。

12月8日(木) 14:50-15:50
Big Questions and Dialogue
環境問題をテーマに参加者で意見を共有します。

12月9日(金) 12:00-14:00/18:00-20:00
「平成狸ぽんぽこ合戦」鑑賞(字幕: 英語)
QRコードを読み取るかPDF上でクリックすると申込みができます。

12月12日(月) 12:00-13:45/18:00-19:45
「WALL-E」鑑賞(字幕: 日本語)

12月13日(火) 13:00-14:30
ロン先生の講義「プラスチック、環境と人間社会」をテーマにエストニア&ドイツ青年との意見交換 (Tea Timeあり)

12月14日(水) 14:40-17:00
エストニア&ドイツ青年とのディスカッションおよび交流会 (Tea Timeあり)

12月14日(水) 18:00-19:00
エストニア&ドイツ青年による自国紹介および親睦会

<問い合わせ先>
グローバル・カフェ 備前
iglobalcafe@hokagawa-u.ac.jp
0807-832-1268

8. グローバル・カフェ 2022 年度後期利用者実績

2022 年度後期(2022 年 10 月～2023 年 1 月)の利用者延べ人数は下記の表の通りである。

